

事前評価書

年度	4
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業 国道217号(土橋工区) ^{どばし}	事業主体	大分県
所在地		臼杵市大字福良 ^{うすき ふくら}		
事業概要	事業の目的	・県内の主要渋滞箇所である土橋交差点の渋滞緩和を図ることを目的としている。		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=150m(現道拡幅)、W=11.5(18.0)m 【道路区分】 第4種第2級 【設計速度】 V=50km/h 【計画交通量】 12,300台/日 (R12) 【現況幅員・交通量】 W=9.0(15.95)m 交通量 10,712台/12h(R2.10実測)		
	事業費	C=75百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から3年(令和6年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、設計 2年目 用地買収 3年目 工事		
事業の必要性	必要性・緊急性	・土橋交差点は、「大分県の主要渋滞箇所」として選定されており、特に津久見方面からの流入が多く、朝夕の時間帯で渋滞が発生。		
	整備効果	・津久見方面からの流入のうち、左折が約4割を占めているため、左折車線の設置により渋滞の緩和が期待できる。		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	・交差点改良事業のため、費用便益の算出は困難であり、道路利用状況等から総合的に判断。		
	工法の妥当性	・道路構造については道路構造令を満足するものとなっている。		
	コスト縮減	・アスファルト・砕石は再生材を利用。		
	環境等への配慮	・地域に影響を与えないよう施工時の騒音・振動の抑制を図る。		
事業実施環境	事業の実効性	・地元期成会(臼杵の安全・快適な道づくり促進期成会:会長臼杵市長)からの要望も強く、地元の協力体制は整っている。		
	事業の成立性	・道路法第12条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」に基づき事業実施		
	事業の特殊性	・必要最小限の現道拡幅としており、特殊な工法は採用しておらず、また施工条件等に特殊な制約もない。		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

